

平成27年度 事業報告
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 平成27年度助成事業について

(1) 研究助成金の交付

平成27年3月12日の選考委員会の答申を受け、3月17日開催の平成26年度第2回定時理事会で承認された土木分野8件、建築分野10件の計18件について、助成金計1,780万円を4月及び10月の2期に分けて交付した。

	助成者名	所属	研究課題	助成金 (万円)
土 木 分 野	羽切 正英	福島工業高等専門学校	バイオマス資源を活用した上水処理用吸着分離複合機能膜の創成	100
	山上 路生	京都大学	洪水河川におけるリアルタイム流況観測を目的とした自律制御型・無人潜水ロボットの開発	100
	角野 晴彦	岐阜工業高等専門学校	高速排水処理「Hi-DHSリアクター」の新規な生物膜制御法の開発	98
	海野 寿康	宇都宮大学	動力学挙動を考慮した不飽和土の流動性崩壊危険度評価手法の開発	95
	西田 孝弘	京都大学	微生物及び化学工業材の特性を活用した社会インフラの鋼材腐食抑制に資する高機能材の提案	100
	押木 守	長岡工業高等専門学校	超省エネ都市下水処理の安定性の強化にむけた嫌気性原生動物データベース (PD2) の整備	92
	八木澤 順治	埼玉大学	越流のエネルギー減衰に及ぼす堤防裏法被覆工の相対粗度間隔に関する研究	100
	西村 文武	京都大学	嫌気性アンモニア酸化 (Anammox) プロセスにおける亜酸化窒素の挙動ならびに制御に関する研究	100
		土木分野計		

建 築 分 野	助成者名	所属	研究課題	助成金 (万円)
	松本 幸大	豊橋技術科学大 学	光ファイバセンサを用いた鋼構造接着接合界面 における破壊メカニズムと損傷評価	98
	岡崎 篤行	新潟大学	花街における伝統文化を継承した地方創成活動 に関する研究	97
	入江 正之	早稲田大学	建築家池原義郎の残した図面資料に関する基礎 的研究	100
	古川 幸	東北大学	立ち上げ部を有する露出型柱脚におけるせん断 力伝達機構と耐荷機構の実験的検討	100
	吉岡 智和	九州大学	RC・SRC造共同住宅の財産保護のための制 振RC方立て壁を用いた耐震改修法に関する研 究	100
	宮本 慎宏	香川大学	伝統的木造建築物の水平構面要素のせん断性能 に関する研究	100
	五十子 幸樹	東北大学	長周期建物の長周期長時間地震動対策に有効な 次世代型ダンパーの開発と多目的最適設計	100
	名木野 晴暢	大分工業高等専 門学校	樹脂材料を充填する柔な鋼管構造の動力的挙 動とその耐震性能評価	100
	山名 善之	東京理科大学	旧フランス領インドシナ及び周辺諸国のモダ ン・ムーブメント建築に関する保存状況の調査 研究	100
	田路 貴浩	京都大学	関東大震災が与えた近代建築受容への影響一分 離派建築会を中心として	100
	建築分野計			995
研究助成総計				1,780

(2) 国際会議助成金の交付

平成27年3月12日の選考委員会の答申を受け、3月17日開催の平成26年度第2回定時理事会で承認された4件の国際会議について、助成金400万円を6月に交付した。

土木分野	第3回計算力学分野の進展に関する国際ワークショップ
責任者	筑波大学・システム情報系教授 磯部 大吾郎
期間	平成27年10月12日～14日 (3日間)
土木分野	第15回国際地盤工学会アジア地域会議
責任者	熊本大学大学院自然科学研究科教授 大谷 順
期間	平成27年11月9日～13日 (5日間)
建築分野	コンクリート構造物の再生および保全に関する国際会議
責任者	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 野口 貴文
期間	平成27年6月1日～3日 (3日間)
建築分野	IASS WG12+WG18 国際ジョイントコロキウム「生態に基づいた素材を活かす環境共生形態構造」
責任者	東京電機大学 未来科学部建築学科 教授 今川 憲英
期間	平成27年4月9日～12日 (4日間)

2. 平成27年度顕彰事業について

(1) 前田工学賞の授与

平成27年3月12日の選考委員会の答申を受け、3月17日開催の平成26年度第2回定時理事会で承認された下記の者に対し平成27年6月5日(金)東京都港区浜松町世界貿易センタービル内東京會館において授賞式を行い、賞状及び賞金(100万円)を贈呈した。

土木分野	西村 正三 (株)計測リサーチコンサルタントクリエイティブ事業 インフラ構造物の変状調査とモニタリングのための遠隔測定法の開発と評価に関する研究
建築分野	木村 俊明 (株)佐々木睦朗構造計画研究所 自由曲面シェル構造の構造形態創生手法の提案—形状と厚さの同時最適化法の定式化と線形座屈荷重を目的関数とした形状最適化法の構築—

(2) 山田一字賞の授与

平成27年3月12日の選考委員会の答申を受け、3月17日開催の平成26年度第2回定時理事会で承認された下記の者に対し平成27年6月5日(金)東京都港区浜松町世界貿易センタービル内東京會館において授賞式を行い、賞状及び賞金(50万円)を贈呈した。

土木分野	高井 敦史 京都大学大学院地球環境学堂 ソイルベントナイト遮水壁の地盤環境的信頼性
------	--

- 土木分野 宮本 慎太郎 東北大学大学院工学研究科
熱力学考察に基づくコンクリートの酸劣化メカニズムおよび劣化予測に関する
基礎的研究
- 建築分野 海野 聡 (独) 国立文化財機構 奈良文化財研究所文化遺産音
奈良時代の造営体制と建築
- 建築分野 五十嵐 豪 東北大学大学院工学研究科都市・環境学専攻
ポルトランドセメント系カルシウムシリケート水和物の水蒸気吸着性状に関する
研究

3. 平成28年度事業に対する広報・募集及び選考活動について

当法人の助成金の交付時期は、研究者の年度計画達成を援助するため、新年度期首に交付している。そのため、標題の諸活動は先行的に平成27年度中に実施している。

(1) 広報活動

- ①土木学会誌、建築雑誌に募集要項を掲載した。
- ②インターネットホームページに募集要項、応募用紙を掲載した。

(2) 募集活動

- ①全国の土木、建築系の学科のある高等専門学校、大学、大学院に募集依頼と募集要領を送付した。

(3) 選考

①研究助成について

土木分野66件、建築分野48件の応募があった。

応募課題に対し、1件当たり3名の選考委員で、定められた評価要素につき第一次審査を行い、平成27年12月14日(月)開催の第1回選考委員会において、土木分野18件建築分野20件を第二次審査に付すこととした。

第二次審査は、全選考委員による審査結果に基づいて、平成28年3月7日(月)開催の第2回選考委員会において、土木12件、建築11件の候補者を選定し、青山選考委員長から岡村理事長に報告した。

理事長はこれを、3月22日(火)開催の平成27年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で助成を決定し、その後申請者に通知した。

②国際会議助成について

土木系分野3件、建築系分野2件の計5件の申請があった。

第1回選考委員会において、申請された5件全てを詳細に審査することとし、その結果を基に第2回選考委員会において選考した。

選考の結果、土木分野1件、建築分野1件の計2件の国際会議を助成候補とすることとなり、理事長に報告した。

理事長はこれを、3月22日（火）開催の平成27年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で助成を決定し、その後国際会議責任者に通知した。

③前田工学賞・山田一字賞顕彰について

応募状況は、土木分野2件、建築分野7件の計9件であった。

ア、応募にあたって提出された学位論文の内容要旨及び論文業績について出席した選考委員全員によって、定められた評価要素を勘案し、一次審査を行った。

平成27年12月14日（月）開催の第1回選考委員会において、土木分野では2件、建築分野では5件の計7件を2次審査に付すこととした。

イ、2次審査は、学位論文本文の提出を受け、これを委員全員で審査した。その結果を平成28年3月7日（月）開催の第2回選考委員会において審議し、前田工学賞として、建築分野で1名、山田一字賞について、土木分野で1名、建築分野で2名、合計4名の候補者を選定し、青山選考委員長より岡村理事長に報告した。

ウ、理事長はこれを、3月22日（火）開催の平成27年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で顕彰を決定し、その後申請者に通知した。

平成28年度前田工学賞受賞者

建築分野：富安 亮輔 氏 以上1名

平成28年度山田一字賞受賞者

土木分野：谷辺 徹 氏

建築分野：三宅 拓也 氏

建築分野：三森 弘 氏 以上3名